



2024年11月1日発行
1952年5月13日発刊
毎月1日(月刊定価1部60円)
(購読料はYMCA会費に含まれています)
公益財団法人名古屋YMCA
〒464-0848
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332
●発行人 中村 隆
●編集人 名古屋YMCA広報

YMCA News

11

能登半島豪雨水害支援

支援概要 10月12日~14日、石川県輪島市町野町へ5名のスタッフ・ユースリーダーを派遣しました。町野町は大地震と豪雨水害の二重被災地であり、6月末までYMCAが支援活動を行っていた場所です。大震災から半年以上経過した現在でも、ゆがんだ電柱や信号機、倒壊した建物等が多数残っています。さらには山崩れの跡、土砂が流れ込んだ田畑、道の至る所で流木が積み上がり、それらの被害が、地震と水害のどちらによるものか定かでない状況です。派遣スタッフは輪島市立東陽中学校のボランティアセンターに登録後、現地の方々の指示の元、主に、家具の運び出しや清掃、土砂・流木等の撤去作業を行いました。悲惨な街並みと再び避難生活を余儀なくされている様子に、YMCA関係者一同、心を痛めております。被災地の皆様に、安らげる風景や生活が少しでも早く訪れるよう願います。(担当スタッフ 瀬川 景子)

■ 支援活動に参加したリーダーより

みんなで繋ぐ

加藤 愛唯(くらりんリーダー)



私たちが支援に向かったのは、土砂災害の被害を受けた個人宅でした。家主はボランティア依頼を申し込むことに勇気が必要だったと話されていました。ご自身が被災者であるにも関わらず、もっとひどい被害に遭われた方がいると思われてのこと。そんな心優しい方の力になりたいと思いましたが、自分のできることの少なさに無力感でいっぱいになりました。しかし帰り際、中村総主事が「次の方が来てくださいますから」と声をかけているのを聞いて、はっとさせられました。この言葉は、被災された方へ向けてのものでしたが、私が抱いていた後ろ髪をひかれる思いも同時に救ってくれました。ボランティアは小さな積み重ねであり、みんなでバトンを繋ぐリレーのようであると実感しました。

活動できたのは一部ですが、一人ひとりができることをしていると、人との繋がりに気づくことができました。最後に、私たちボランティアを温かく迎えてくださった町野町の皆さん、本当にありがとうございました。

復興を願って

鈴木 翔子(スヌーピーリーダー)



今回の能登災害支援は私にとっては初めての災害ボランティア経験でした。ニュース等で能登の様子を見たことはありましたが、直接目にする全壊の家や土砂崩れの跡の様子は衝撃的であり、地震と水害の二重被害は想像以上のものであることを知りました。

活動できたのは1日半と短い時間でしたが、最後に家主の方に涙ながら感謝していただいた時、ボランティアに来てよかったと心から思いました。自分1人の力は小さいですが、他のボランティアの方々と共に、被災された皆様が前を向くきっかけになるような活動をできたことを嬉しく思います。

ボランティア不足の報道を目にしていたのですが、今回の活動を通して、被災地はまだ人手を必要としていることを実感しました。私が能登被害状況を理解できていなかったように、現状について知らない方が多くいると思います。今後もボランティアを続けるとともに、この活動での経験を周囲に伝え、1人でも多くの方が能登復興に向けて支援を行うことを願っています。

■名古屋YMCA現地派遣スケジュール

期間	支援場所(支援内容)	派遣者
1月25日 ～31日	金沢市1.5次避難所 (避難所運営サポート)	スタッフ(福田)
2月4日 ～10日	金沢市1.5次避難所 (避難所運営サポート)	スタッフ(小島)
10月8日 ～9日	輪島市門前町 (ゴミ仕分け・家財整理他)	スタッフ(遠藤)
10月12日 ～14日	輪島市町野町 (泥掻き・家財整理他)	スタッフ(中村・瀬川・小島) ユースリーダー(鈴木・加藤)



家主の方(右)のお話を聞き、大切なものと処分するものを選別し作業を進めました



募金活動を再開しました！

町野町の方々の、助けを必要としている声がたくさん届いています。ぜひご協力お願いいたします。

銀行振込 三菱 UFJ 銀行 きよなみ支店 (804)
普通口座 口座番号：1117999
公益財団法人名古屋 YMCA
ザイ)カゴワイムシーエ

郵貯振替 日本 YMCA 同盟災害支援募金口
口座番号：00130-4-696497
※「2024 能登豪雨」とご記載ください

窓口 YMCA の各拠点で受付可能です

総主事コラム

寄り添う1

令和6年1月1日16時10分頃、石川県能登地方を震源地とする最大深度7の地震が発生し、能登半島に大きな被害を及ぼしました。調べてみると2020年頃から地震が頻発しており予兆があったようです。震災からの復旧も十分でない9月21日、同じ場所で線状降水帯による大規模な水害が発生しました。地震でひび割れた山肌は崩壊し、多くの土砂災害が起きました。全国のYMCAでは震災直後からできる限りの支援を続け、特に輪島市町野町東陽中学校の避難所運営を担い、支援を続けてまいりました。その最大の協力者であった地元唯一の「もとやスーパー」も今回の水害により大きな被害を受けました。

ここまでの話は情報として知っていましたが、私自身がようやく現地に行くことが許され、現実を改めて知ることとなりました。名古屋から金沢まで車で3時間、金

沢から輪島までは2時間。9月10日に全線対面通行が可能となった「のと里山海道」ですが、震災による被害が大きく震災後9か月が経ったのに至る所が崩壊しています。迂闊にスピードを出すと補修した段差で車がジャンプしてしまう状況です。ようやく到着した輪島市内は崩壊した家屋が当然のように放置され、宿泊したホテルは未だに水道が使えずトイレも仮設です。焼失した朝市周辺に立つと今も焼けた匂いを感じます。人が来ないコンビニは16時終了。そこには報道通り取り残された町が存在しましたが、営業を再開した一部の店舗からは復興に向かう人々の新しい息吹を感じることができたのも事実です。被害の大きかった町から離れ、環境の整った場所に一時避難すべきであるという正論よりも、それでも地元に残り復興したいという願いに強く共感する、すてきな風景が確かに存在しました。

(中村 隆)

第11回 名古屋YMCA大会 2024

Just World 公正な世界の実現のために

名古屋YMCA大会実行委員長 荒川 恭次



今回のYMCA大会のテーマは「YMCA Vision2030」の中の「公正な世界の実現のために」に焦点を当てました。基調講演はフィリピンアルバイYMCA総主事のTintinさん、同行者としてフィリピンYMCA同盟総主事オランドさん、マニラYMCAのシエラさんをお迎えしてKKRホテル名古屋で開催されました。

YMCA職員(財団・学法)、ユースリーダー、インターアクト、会員(ワイズメン他)100名若参加の中、開会にあたり日本基督教団東海教会 和田芳子牧師による開会礼拝の後、第1部のリーダー認証式では明日のプログラム活動を担うユースボランティア認証を受けたリーダー6人が紹介され認証状が中村総主事より授与されました。永年会員表彰は60年表彰の吉田一誠さんを筆頭に多数の永年会員へ川本理事長より表彰状が手渡されました。2023-24年度YMCA活動報告では中村総主事より2023年度の会計決算報告等名古屋YMCAの現況報告があり、ユースリーダーからは活動状況、ワイズメンズクラブからは名古屋YMCAをサポートするワイズメンズクラブの活動が紹介されました。

そして今回の基調講演はアルバイYMCA Tintin総主事の語りと、瀬川担当の翻訳で進められました。1976年8月17日ミンダナオ島で発生した地震と津波の被害を支援するため1977年から始まった名古屋YMCAとフィリピンとのパートナーシップは40年以上続いています。アルバイYMCAとの関係は2006年の台風被害支援を受け2008年9月から始まったHEARTキャンプ



以来です。今ではワークキャンプからフレンドシップキャンプへ移行し「フィリピン・日本フレンドシップ・キャンプ」へ受け継がれ多数の若者達が参加しています。

今回の基調講演にあたり、Tintinさんは過去の情報を非常にご苦労されて収集し纏められました。語られた内容は皆さんの記憶からは薄まってしまったと思いますが、貴重な記録ですのでどこかに保存し、再度読み返していただけたいと思います。

そして、第2部で計画した基調講演を受けてのグループディスカッション(テーブル毎意見交換)では、「身の回りで社会課題だと感じること」「名古屋YMCAが事業や会員活動を通じて何が出来るか」「これからどういったプログラムが展開できるか」を話し合っていたのですが、時間の都合で叶いませんでした。ここで今一度考えていただけたいと思います。最後にTintinさんの締め言葉を書いて終わります。

「名古屋YMCAの皆さん、アルバイYMCAとフィリピンへの継続的な取り組み、そして何度も国境を越えて手を差し伸べてくださったことに感謝します。そして、この活動やフレンドシップキャンプに参加し続けているすべての若者たちへ、あなたたちが思いやり、連帯、希望の伝統を受け継いでいることを知ってください。皆さんは、分裂よりも団結を、紛争よりも平和を、不平等よりも公正さを、憎しみよりも愛を大切にする世界の担い手なのです。」



YMCA / YWCA 合同祈禱週 2024

YMCA / YWCA 合同祈禱週2024を開催します。今年のテーマは「自然現象に学び、信仰をもって歩む ～水・地・火・風をテーマに～」。

第1部は日本同盟基督教団シティリジョイスチャーチの榊原康成牧師をお招きし、礼拝を行います。また、今年名古屋YMCAがフィリピンフレンドシップワークキャンプ、名古屋YWCAが日韓ユースカンファレンスを行いました。第2部では、各ユースがその海外交流について報告します。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

(担当スタッフ 清水 美佐子)

日時：11月16日(土)10:00～11:30
 会場：名古屋YWCA2階+ZOOM
 参加費：無料
 申込：info@nagoyaymca.org / 052-831-6968
 11月14日(木)締切

宝くじからのテントのおくりもの

今年も宝くじからテントの寄付をいただきました。宿泊用テントは夏休みのキャンプで大活躍！テント設営に苦労はしましたが、一生懸命立てた広いテントで過ごす時間は特別な時間だったようです。子どもたちとリーダーの絆も深まったテントの時間となりました。また、新しいテントの中がどうなっているのか気になって遊びに来たお友だちに、窓がこんなところについているんだよ！と自慢げに紹介してくれていました。今年度もご支援いただきありがとうございます。

(担当スタッフ 遠藤 恵美子)



維持会員感謝・ご寄付感謝 (2024年8月21日～10月20日)

維持会員

(継続) 吉川 裕子 近藤 保彦 浅野 猛雄 中根 和隆 山岸 節子 竹本 未佳 鈴木 賢治
 藤崎 理奈 渡辺 孝

寄付金・募金

(かみさわ保育園10周年記念基金) 三田村知里 真城 壮司 衣笠 未来 浅野 猛雄 山本 和子 大東 明代
 (日和田高原キャンプ場リニューアルプロジェクト) 小林 宏之 日比野隆行
 (チャリティーラン) 古庄電機産業株式会社 名古屋ロードサービス株式会社 近藤産興株式会社 辻 恵子
 福島 照 柴田洋治郎 名古屋大須ロータリークラブ 小澤金属工業株式会社 義井 順之
 義井 誠之 義井 裕子 公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・愛知 中部日本放送株式会社
 名古屋ワイズメンズクラブ 東海ワイズメンズクラブ 名古屋グランパスワイズメンズクラブ
 (国際協力基金) 川合 英治
 (青少年基金) 橋本 泰博

早天祈禱会

日時	11月5日(火) 7:45～8:30
会場	名古屋中央教会
奨励	名古屋中央教会 竹内款一牧師

ワイズコーナー 11月例会の予定

名古屋	11月12日(火) 19:00～	卓話「YMCA 日本語学院について」 名古屋 YMCA 日本語学院 犬飼 英男 主任教諭	名古屋YMCA
名古屋東海	11月14日(木) 18:45～	卓話「にぎわい作りへの官民への取り組み」 講師 白鳥 茂人氏	ラ・スース アン
名古屋 グランパス	11月13日(水) 19:00～	卓話 荒川 恭次氏	ZOOM

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
 YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
 南山ファミリーYMCA 052-831-6968
 南山幼稚園 052-831-8271
 神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
 YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
 名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
 発達サポートYMCAつるさと 052-823-2021
 かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2024年度聖句

「見よ。なんとという幸せ なんとという楽しさだろう。兄弟たちが一つになってともに生きることは。」(詩編133篇1節)